

* 本論文の著作権は秋田大学に帰属するため、ここでは論文の要旨のみを紹介します。

教師のメンタルヘルスに及ぼすサポートグループ参加の効果

～ 自尊感情、バーンアウトの視点から

本研究では、教師のメンタルヘルス問題について、校外のサポート機能に焦点を当て、自尊感情及びバーンアウトの視点から検討を行った。本研究の対象は、自主的にカウンセリングを学び合うサポートグループ参加教師 25 名であり、実験群とした。実験群は、グループへの 10 回の参加回数を基準にして、高群と低群の 2 群に分けた。また、一般の公立学校教師 255 名を対照群とした。実験群に対しては、自尊感情、バーンアウトを測定する質問紙調査を実施した。対照群に対しては、バーンアウトを測定する質問紙調査を実施した。その結果、高群は、低群に比べて自尊感情が高く、対照群に比べてバーンアウト合計が低いことが明らかになった。また、バーンアウトの下位尺度である個人的達成感低下が低いことも明らかになった。さらに、高群の自尊感情はバーンアウトに対する負の予測変数であることも明らかになった。これらのことから、サポートグループへの参加は、参加者の自尊感情向上やバーンアウト軽減に影響を及ぼすことが示唆された。

キーワード；メンタルヘルス、サポートグループ、自尊感情、バーンアウト